

# みなと総合高校地球科学部

## 部活動紹介

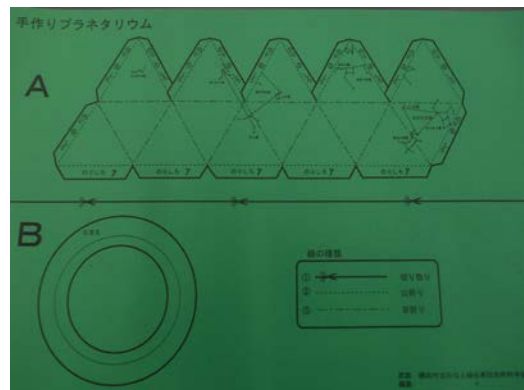
地球科学部では「宇宙についてのことを広める！」を目標に、プラネタリウム投影、手作りプラネタリウム、天体観測などを行っています。今年、大鳥中学校で開催された「七夕まつり」と、長野県で行われた「原村星祭り」にボランティアとして参加しました。また12月には例年、はまぎんこども宇宙科学館にて開催される「青春プラネタリウム」に参加し、自分たちで台本を作り投影しています。

## 手作りプラネタリウム

手作りプラネタリウムは、左下図①のように家でもプラネタリウムを楽しめる装置です。この装置は私たちの先輩が設計したもので現在使用している原稿が図②です。紙でできているので、はさみとのりを使うことができれば、誰でも簡単に作ることができます。



図①



図②

## プラネタリウム投影

プラネタリウム投影にも力を入れています。投影機をエアドームの中に設置し、自分たちで星座や星についての説明、神話や物語の紹介、恒星や惑星、星団の解説など、ストーリーを作って星空の世界を映しています。今年度は、本校の文化祭、学校説明会などの学校行事で投影を実施しました。



## 長野県原村でのボランティア

8月2、3日で長野県原村に行き、「原村星祭り」に参加しました。手作りプラネタリウム教室を行い、多くの方々に来ていただきました。会場の手伝いや、様々な会社の大きな望遠鏡も見させてもらい、空気が澄んでいるところで、星を見ることができて、非常に良い経験になりました。部員全員で協力し、2日間有意義に過ごすことができました。原村で撮影した写真を紹介します。



## 天体観測

天体観測をみなと総合高校屋上で行っています。観測には反射式望遠鏡と、屈折式望遠鏡を使うことができます。屈折式とはレンズを使い、反射式とは凹面鏡を使って光を集め、像を拡大するものです。本校にある一部の望遠鏡を紹介します。



屈折式 D=102 mm

屈折式 D=80 mm

反射式 D=130 mm